

# 第2回定例町議会

平成19年第2回定例会は、6月19日に招集され、専決処分、平成19年度各会計補正予算、条例等を審議し、いずれも可決され、19日に閉会しました。



## 専決処分

▽平成19年度一般会計補正予算(第1号)

.....承認  
檜山海区漁業調整委員会委員補欠選挙に係る予算措置で、歳入歳出それぞれ、1百40万6千円を追加し、予算総額は、34億6千83万8千円となりました。

## 補正予算

▽平成19年度一般会計補正予算(第2号) : 原案可決

歳入歳出予算に2千1百73万8千円を追加し、予算総額は、34億8千2百57万6千円となりました。  
補正の主な内容は、次のとおりです。

### 〔歳入〕

国庫支出金 △1千円  
道支出金 9百43万2千円  
繰入金 1千2百8万7千円

諸収入 22万円

### 〔歳出〕

総務費 6百85万9千円  
民生費 17万円  
衛生費 2百65万7千円  
商工費 34万円  
教育費 1千1百71万2千円

□平成19年度国民健康保険直営診療所特別会計補正予算(第1号) : 原案可決  
診療業務委託料など5百39万3千円を減額し、予算総額は4千54万円となりました。

□平成19年度老人保健医療事業特別会計補正予算(第1号) : 原案可決  
過年度医療給付費等精算還付金5百53万円を追加し、予算総額は4億1千6百43万4千円となりました。

□平成19年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) : 原案可決  
総務管理費など60万円を減額し、予算総額は5千4百31万6千円となりました。

## その他

○新たに生じた土地の確認について : 原案可決

宮津漁港公有水面埋立により新たに生じた土地の確認が承認されました。

○奥尻町の字の区域の変更について : 原案可決  
宮津漁港公有水面埋立により新たに生じた土地の字の区域の変更について承認されました。

## 報告

△平成18年度一般会計繰越明許費繰越計算書  
後期高齢者医療制度保険料徴収等システム開発委託事業翌年度繰越額1千3百10万4千円となりました。

△平成18年度国民健康保険事業勘定特別会計繰越明許費繰越計算書  
国保システム改修委託事業翌年度繰越額6百61万5千円となりました。

◇北海道後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について

この選挙は、町村議会議員の区分において候補者定数8人を上まわる9人となり、選挙が行われることになったものです。

### 議会運営委員会

6月15日に議会運営委員会が開かれ、19日から開催される6月定例町議会の議事運営について審議しました。

同委員会は、会期については2日間とし、各団体から要請されていた意見書については4意見書について、同委員による共同提案とすること等を決めました。

### 意見書を提出しました

次の意見書を関係機関に提出しました。

◎後期高齢者医療制度の充実を求める意見書

◎特定健診・特定保健指導に関する意見書

◎地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の着実な推進に関する意見書

◎地方財政に関する意見書

◎道路整備に関する意見書

### 議員研修会

7月3日に札幌で北海道町村議会議員研修会が開かれ、奥尻町議会議員9名が参加し、さわやか福祉財団の堀田 力氏の『町村議員に期待する』、東京大学名誉教授の大森 彌氏の『分権時代の基礎自治体とその議会』と題し講演が行われました。



▼堀田氏はこれからの自治体は財政的に厳しい状況がつづくことから、町民が自ら行政に参加する活動が求められるのではないかと、この提起がされました。



▼大森氏は、政府が進めようとしている道州制、そして自治体を極端に少なくする合併については大いに疑問があるところだ。議会は地方自治法を駆使して権威を高め、予算議会などでは、端に町側が提案する議案に

賛否を表すだけでなく、住民の利益に結びつく、事案を提起する町議会に成らなければならぬ、などの考えが示されました。

